

ACPA 2018年度  
大学向けセミナー

パネル討論  
RPA導入が及ぼす大学業務改革への  
インパクトと課題

パネリスト  
吉武博通 伊藤達哉 櫻井勝人 内山博夫

司会  
深澤良彰

2018.7.25

# (今日の) 私の頭の中の構造

- 大学における新しい業務の導入
- 職員数は増えない

大学の生き残り



職員 1 人当たりの業務量の増加 / 不満の増加



業務の見直し・整理

業務の廃止

業務の軽量化

人件費の削減：一定予算の中で、多くのマンパワー

定型的業務に対して

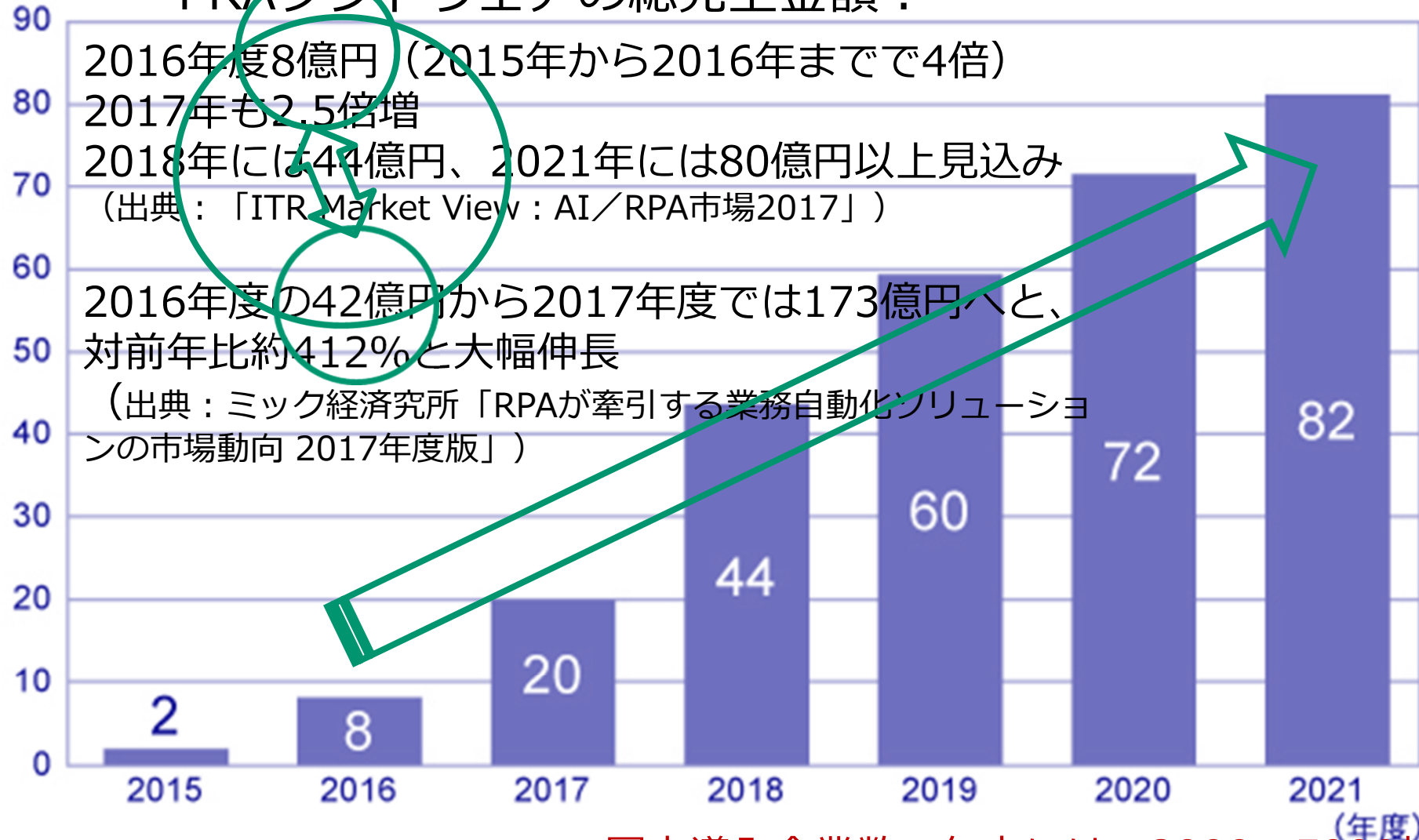
委託、嘱託、派遣・・・

PRA

# RPAの動き

政府の未来投資会議：  
デジタル行政実現の  
基盤技術

(単位：億円) PRAソフトウェアの総売上金額：



2016年度8億円 (2015年から2016年までで4倍)

2017年も2.5倍増

2018年には44億円、2021年には80億円以上見込み

(出典：「ITR Market View：AI/RPA市場2017」)

2016年度の42億円から2017年度では173億円へと、  
対前年比約412%と大幅伸長

(出典：ミック経済研究所「RPAが牽引する業務自動化ソリューションの市場動向 2017年度版」)

出典：ITR「ITR Market View：AI/RPA市場2017」 国内導入企業数：年内には、3000～5000社  
\*ベンダーの売上金額を対象とし、3月期ベースで換算。2017年度以降は予測値。

# RPA48

## ～ロボ社員活用の勘所と落とし穴～

- **先行企業におけるノウハウ**

4種類48項目

- **導入編**：これから導入する企業が知っておきたいポイント
- **技術面でのポイント**：さまざまなIT技術との連携方法
- **適用業務の見分け方**：効果を得やすい領域や銜展開の方策など
- **開発体制の整備**：RPAを効果的に開発し、運用するために必要な、用件の洗出しや各部署での協力者の整備など

# 導入編

## ～製造・中小・官公庁も～

- 製造業にも役立つ
- 働き方改革の旗手に託す
- 試しに動かして実体をつかむ
- 大量の事務処理と好相性
- 対象の部署を絞り込む
- 業務担当者を手厚く支援
- 中小企業にこそ有効
- 組み合わせれば威力が増す
- 仕事が進むデータをロボで作成
- 複数画面からデータを集約
- 複雑化に拍車も、副作用に注意
- 操作マニュアルの高度化にも

# 導入時の技術的ポイント

## ～自動化の限界を突破～

- OCRとの相性は抜群
- OCRの精度に過度な期待は禁物
- 大画面ならロボも作業が容易
- 音声認識をロボ起動のきっかけに
- AIの学習データ集めに使える
- 取りにくいデータも自動取得
- 悪い情報の通知、ソフトロボに
- 目的と手段を取り違えない

Class2 ?

# 適用業務の見分け方

## ～データ連携にも使える～

- 推進役は現場から
- 改めて要件定義の能力が問われる
- デモは必ずなじみある例で
- 何でもできるは幻
- 働き方は若手社員並み
- 複雑な業務は後回し
- 経営者に訴求できる効果を示す
- まずは身近な単純作業から
- コツをつかんだら増力化に応用
- 新規事業のアシスト役に
- 連携ツールとして積極活用

# 開発体制の整備

## ～稼働後に潜む落とし穴～

- 利点を示すのが理解を得る近道
- 10体試作でコツをつかむ
- 現場の「マクロ使い」を探す
- 稼働後を見据え体制整備
- 身の丈に合ったツールを選ぶ
- ロボを動かす環境を決める
- アクセス権限を洗い出す
- ログイン方法に要注意
- 操作対象の性能チェックも
- 操作の洗い出しは計画的に
- ビデオ撮影で操作を把握
- 80対20の法則でロボ化
- ツールの制約は知恵でカバー
- 稼働後が本番と心得る
- 作業終了を報告させる
- ロボの働きぶりをチェック
- 改善事業に終わりなし



# パネリストに対する重要度アンケート

	吉武	伊藤	櫻井	内山
1位	推進役は現場から	試しに動かして実体をつかむ	稼働後が本番と心得る	改善活動に終わりなし
2位	改めて要件定義の能力が問われる	経営者に訴求できる効果を示す	アクセス権限を洗い出す	まずは身近な単純作業から
3位	改善活動に終わりなし	推進役は現場から	目的と手段を取り違えない	働きは若手社員並み

(敬称略)

# パネリストに対する重要度アンケートの傾向

	吉武	伊藤	櫻井	内山
1位	推進役は現場から	試しに動かして実体をつかむ	稼働後が本番と心得る	改善活動に終わりなし
2位	改めて要件定義の能力が問われる	経営者に訴求できる効果を示す	アクセス権限を洗い出す	まずは身近な単純作業から
3位	改善活動に終わりなし	推進役は現場から	目的と手段を取り違えない	働きは若手社員並み

(敬称略)

導入編

技術的ポイント

適用業務の見分け方

開発体制の整備

10



RPAは、  
有力な技術ではあるが、  
万能ではない！



**Thank you...**

本資料の一部は、セミナー終了後、NPO実務能力認定機構（ACPA）のWebサイト（<http://www.acpa.jp/>）からダウンロードできるようにしますので、ご参照ください。

ご質問・ご意見等は  
inqq@acpa.jp まで